

青梅市社会教育委員会議 3 月定例会会議録

令和 2 年 3 月 1 7 日
2 0 1 会 議 室
出席者 委員 8 名
(欠席者 委員 2 名)
事務局 3 名

1 開 会

【議 長】新型コロナウイルス拡大が止まらず、見通し立たない状況で、世の中は元気がなくなっているが、この会議は元気にやっていきたい。

【課 長】新型コロナウイルスの関係で、社会教育課では事業はほとんど中止になり、図書館の館内滞在時間を短くしている。早く終息するよう願っている。

2 報告事項

- (1) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 5 回役員会、第 2 回理事会の開催について (報告資料 1)

ア 日 時 令和 2 年 2 月 1 8 日 (火) 午後 1 時 3 0 分～

イ 場 所 三鷹市公会堂さんさん館 3 階

ウ 参加者 宮野議長、随行 土屋

【事務局】事務局から概要説明。4 月の定期総会の議案が主な内容。

- (2) 令和 2 年度社会教育事業 (案) について (報告資料 2)

【事務局】事務局から概要説明。ネッツたまぐーセンターで、新たに市民映画会を年 4 回開催予定、多目的ホールの音響・照明機材講習会を 3 回開く予定。

【議 長】オリンピックの時に事業を休んだりしないのか。

【事務局】オリンピックに重ならないようにはしているが、オリンピックは夏休み期間なので、その間に何もしないわけにもいかない。日程をうまく組んで、事業を行っていく。

- (3) 生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭 2 0 2 0 ～の開催について

(報告資料 3)

【事務局】事務局から概要説明。釜の淵公園とネッツたまぐーセンターで行う。その間をつなぐシャトルバスを運行予定。

【議 長】新型コロナウイルスが収まって、うまく開催できるといい。

【委 員】4 月 2 日の実行委員会が開催できるかどうか、というところか。

【事務局】ネッツたまぐーセンターで実行委員会を行い、会場を見てもらいたいとも考えたいと思っている。出演時間のスケジュールは確定しているので、実行委員会は開催できなくても、新緑祭開催に向けて対応可能かもしれないと

考えている。これからの状況を鑑みて、考えていきたい。

(4) 今年度を振り返って（派遣委員報告等）

ア 青梅市生涯学習推進市民会議委員

栗原委員 任期 平成30年10月1日～令和2年9月30日

【委員】釜の淵新緑祭の開催関係が多かった。今年からネットたまぐーセンターを使うので、これまでのように公園と室内を行ったり来たりすることは難しい。

イ 青梅市美術館運営委員会委員

横手委員 任期 平成30年10月7日～令和2年10月6日

【委員】郷土博物館と一つになる件について、いろいろ意見が出ているが、今は平行線な状態。美術館の老朽化、美術品の倉庫の問題、エレベータの問題など、いろいろ問題はあるようである。美術館があることはいいことだが、これからの心配である。

【議長】結論は出していないのか。

【委員】市としては郷土博物館は閉じて美術館と一緒にするという方針のようだが、反対の声も多く、具体的な話に移っていないように思う。

ウ 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

金子委員 任期 令和元年7月10日～令和3年7月9日

【副議長】最後の話し合いは来週。今年度、16校に設置できた。学童との一体化として、学校ごとに実施回数は違うが、垣根を越えて一緒に行っている。秋に、アンケートを取り、集計を見ながら今後につなげていく。今、休校時に、放課後子ども教室は閉めていると思うが、居場所として利用できるかどうか、来週聞こうかと思っている。

【事務局】青梅市は場所を貸してもらって行っている状況であり、区部などの学童とほぼ一体化となっているところは居場所として活用できているところもあるようだが、青梅市の場合、分離しているので難しい。

エ 青梅市図書館運営協議会委員

園田委員 任期 令和元年10月1日～令和3年9月30日

（委員欠席）

オ 青梅市スポーツ振興審議会委員

市川委員 任期 平成30年5月14日～令和2年5月13日

【委員】夏のプールの利用状況、秋のスポレクの際の表彰、11月の駅伝の要綱・結果報告等を行った。駅伝は、参加団体が増えて、盛り上がってきている。青梅マラソンの要綱・結果報告等を行った。

【議長】任期満了まで、それぞれよろしく願います。

(5) 生涯学習事業実施予定・結果

（報告資料4）

【事務局】事務局から概要説明。図書館の開催予定のものについては、全て新型コロナウイルスの関係で中止となった。来年度の農業食育体験教室について

は、4月以降なので、募集を進めている。結果については、2月前半は実施したので参加者数を掲載しているが、以降の開催予定だったものは中止となっている。中西先生の講演会については延期して開催する予定。文化課の事業も中止となっている。

(6) その他
特になし

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議1月定例会会議録(案)について

(協議資料1)

～承認～

(2) 令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

ア 日時 令和2年4月18日(土)午後1時～

イ 場所 三鷹市公会堂 光のホール

ウ 内容 ・表彰
・議事(令和元年度事業・決算報告、令和2年事業計画等)
・講演会 佐藤 一子 氏(東京大学名誉教授)

エ 出席者

宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	吉野	飛田	横手	園田
○	○	保留	○	○	○	○		○	

随行 事務局 土屋係長・田畑

【事務局】講演会の佐藤一子氏は、関ブロの長野大会で基調講演の講師をされた方。新型コロナウイルスの関係で、3月30日に臨時役員会を開催し、どのように開催するか決める予定。本日は、開催した場合の出席を確認したい。開催に関しては、メールで随時連絡する。電車で時間を合わせて行くが、車で来られる方は駐車票を送るので、その際は車で来庁するか否かについて回答して欲しい。

【議長】30日の役員会に向けて、皆さんの意見を伺っておきたい。

【委員】書道連盟は改選期のため、役員総会という形にして、人数を減らして開催予定。文化団体連盟も、総会を行うかは理事会で決定予定。4月5月あたりは、集まれるものは全部なしと考えている。書道教室では、一人の生徒につき生徒以外が何人も一緒についてきて、子どもたちが遊んでいるような状態になっている。

【委員】調布地区は、調布大祭は中止。神事のみ行う。飲食は行わないし、山車も引かない。

【委員】縮小で行うのがいいのではないかと。明星大学は、学位授与式は行わ

ない。学部単位でも行わない。学位記は郵送する。研究室単位でも、よほどのことがない限り学校に来るな、という形になっている。極力、時差通勤をすすめている。子どもがいる場合は、居場所は作らないが、職場に連れてきてよいとしている。4月4日の入学式は中止。授業は8日からのスタートができるかヤキモキしている。3月6日の全社連の理事会・総会も中止の予定だったが、延期の予定になったようだ。学会等も全部中止、集まりも自粛。家でテレワークをしている。集まるのは厳しいのではないかと考えている。延期も難しいのではないかと。

【議長】新年度で動き出す必要もある。総会をやらずに理事会で持ち回すのもいいという話になれば、その方向もいいとは思っている。何らかの形で行えればいいと考えている。

【委員】市内学校は休校。学童保育が大変な状況。先週の月曜日から、午前中だけ1・2年生の学童に入っていない子のみ受け入れることになっているが、現実では1人から3人しか来ていない。入学式の判断はまだ。卒業式・修了式は行う。人も制限し、来賓や在校生は入れない。歌を歌ったりはしない。保護者は1世帯2名までとし、席も間隔をあけ、参列者は全員マスク着用。校長もマスクをしたまま証書授与の予定。記念の写真撮影も保護者を入れずに手早く行う。かわいそうだが、命には代えられない。学校によって異なるが、先生から生徒に手紙を書いて、手分けしてポスティング予定。校内の装飾も先生が頑張っている。

【委員】4月18日に大勢の人が集まることは自粛した方がいいと考える。

【委員】地元の自治会の総会も中止。行事の中止による、飲食物の売り上げ減がかなり厳しい状況である。職場でマスク着用命令が出ているが、マスクや消毒液も手に入らない。中止中止というのもいがかかとは思いますが、青梅では感染者が出ていないので、これを維持していきたい。

【委員】昨日、調布市で感染者が出た。その対応に追われている。新婚旅行だった。帰国の時点から自宅待機をしてもらっているため、帰国後に出勤は1回もしていない。しかし、市民にいろいろな憶測が飛んでいる状況。調布市も3月25日までは学校は休みで、教育相談所にはいつも子どもたちが来ていて、にぎやかな状態になってしまっている。調布市では、放課後子ども教室事業の教室で教職員が居場所事業を行っており、多いところだと20人・30人くらいの子もたちが毎日来ている状況。4月18日は1か月先とはいえ、準備もあるので、残念だが見送るのも一つの考えだと思う。

【議長】皆さんの意見はもっともなことだと思う。集まることを避けて、承認してもらえぬ方向にもっていけるといいのではないかと考える。議案書をあらかじめ配布して、委任を取って、集まらない、というところもある。楽観視はできない。よろしく願います。

【事務局】事務局の打ち合わせが26日にあるので、検討しておく。

(3) その他

特になし

4 その他

(1) 成人年齢引下げに伴う青梅市成人式のあり方について（その他資料1）

【事務局】事務局から概要説明。1月定例会でも成人式について意見をいただいた。社会教育委員は、教育委員会に助言を行える立場。主催者の一つである社会教育委員から助言をしてはどうかと考える。1月定例会の意見等を考慮して、案を作成した。この案をたたき台にして助言をしてはどうか。会の名称は、考えて助言してもいいと思う。次回4月の定例会で、改めて皆さんで協議していただき、教育委員会に助言としたいと考えている。

【議長】令和5年の成人式が最初。早めに決めるのが望ましい。主催者としての見識を出したいと思う。持って帰っていただいて、よく内容を詰めて、次回に意見をもらいたい。それで、案を取りまとめたい。

(2) その他

【事務局】2月に青梅子ども未来が令和元年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受けた。

【委員】青梅市が推薦をしてくれた。全国で269チームある中、今回28チームが受賞。市長にも報告できた。地道な毎日の活動が評価を受け、スタッフ一同、今後ますます頑張ろうと思った。

【事務局】配布物は、『とうきょうの地域教育 No.139』、『社教連会報 No.86』、『春休みの生活（中学1・2年生用、中学3年生用）』、『春休みのしおり（小学生用）』、ネッツたまぐーセンターのパンフレット。

【委員】『春休みのしおり』は、修了式で配布予定。

次回定例会 令和2年4月21日（火）